

mikasa

フロアスクレーパー

EDDY-II

取扱説明書



三笠 EDDY-II フロアスクレーパーをお買い上げいただきありがとうございます。
当製品を安全に正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も必ず保存してください。



三笠産業株式会社

701-01103

―――― 目 次 ―――

1はじめに	1
2機械の用途と警告及び構造と動力伝達	1
3警告サイン	1
4安全のための注意事項	2
4.1一般的な注意事項	2
4.2作業前の注意事項	2,3
4.3作業中の注意事項	3,4
4.4リフティング時の注意事項	5
4.5運搬時の注意事項	5
4.6点検・整備上の注意事項	5
4.7ラベル	6
5外観図	7
5.1外観寸法図	7
5.2コントロール装置位置及び装置名称	7
6仕様	8
7作業前点検及び注意事項	8
7.1継ぎ（延長）コードの確認	8
7.2作業環境の整備・確認	8
8運転前点検及び注意事項	8
8.1使用電源の確認	8
8.2スイッチの確認	8
8.3ハンドルナットの確認	8
8.4ブレードの取付	8,9,10
9運転	11
9.1スイッチ	11
9.2剥がし作業	11
9.3作業上の注意	11
10停止	12
11手入れと保存	13
12トラブルシューティング	14

1 はじめに

- この取扱説明書は、スクレーパーの正しい取扱方法、簡単な点検及び手入れについて記載しております。本機の優れた性能を生かし、お仕事の能率を上げ効果的な作業を進めるために、御使用前には必ずこの取扱説明書をお読み下さい。
- お読みになった後も必ずお手元に保管し、分からぬ事があった時には取り出してお読み下さい。
- 補修部品、パーツリスト、サービスマニュアル及びに関しましては販売店、当社各営業所、もしくは三笠部品サービスセンターにお問い合わせ下さい。パーツリストは当社ホームページ(<http://www.mikasas.com/>)でも公開しております。是非ご利用下さい。

この取扱説明書に記載されているイラストが、設計変更等により一部実機と異なる場合があります。また、製品の仕様は予告無く変更する事があります。

2 機械の用途と警告及び構造と動力伝達

【用途】

- 本機は、ビニールタイル(Pタイル)、クッションフロア、カーペット他の床材、床に癒着している材料等を剥がす機械です。

【誤用途、誤使用の警告】

- 床材等を剥がす以外の用途に使用してはいけません。電圧100V(50/60Hz)以外の電源に接続すると機器が損傷し感電の危険があります。また、感電防止のため必ず接地(アース)を行って下さい。ブレードの刃先は鋭利になっておりますので、取扱には充分注意を払い、決して人体等に近付けないで下さい。

【構造及び動力伝達】

- 電圧100V(50/60Hz)の電源から供給された電力により、モーターを回転させます。高速で回転するモーターからの動力を偏心装置に伝達し、強力な振動をブレード(刃)に伝える事で床材等を剥がします。モーターのON-OFFはスイッチで操作します。

3 警告サイン

本取扱説明書及び本機に貼り付けてあるラベルの△マークは警告サインです。
安全上、必ず厳守して下さい。



人体に対する危険がある場合の警告サイン

- △ 危険 指示を守らないと、死亡または重大な傷害事故が生じる危険が極めて高い場合
- △ 警告 指示を守らないと、死亡または重大な傷害事故が生じる危険があり得る場合
- △ 注意 指示を守らないと、怪我や傷害事故が生じる可能性がある場合

注意(△マークなし) 指示を守らないと、物的な損害が発生する可能性がある場合

4 安全のための注意事項

4.1 一般的な注意事項



- こんな時は作業をしない。
 - ・過労や病気などで体調が悪い時。
 - ・薬物を服用している時。
 - ・飲酒をした時。
- 取扱説明書を読む
 - 誤った操作や点検・整備は、機械の損傷や人身事故の原因となります。使用前に取扱説明書をよく読み、充分に理解してから安全に作業して下さい。機械を他人に貸す時は、必ずこの取扱説明書を添付して下さい。
- 指示・警告に従う
 - 安全操作に必要な指示や警告を守らないと、重大な人身事故を引き起こす場合があります。
 - 取扱説明書及び機械に貼られた表示ラベルに記載されている指示や警告をよく読み、順守して下さい。取扱説明書や表示ラベルを紛失したり、汚損等で読めなくなったりした場合は、直ちに当社に注文して下さい。
- 安全な服装で
 - 作業をする際は、作業に合った服装を着用のうえ、作業に適した安全防護具(ヘルメット・保護メガネ・防振手袋・安全靴・防塵マスク等)を着用して下さい。
- 防音保護具を着用して下さい。
 - 騒音の大きい作業では、耳栓・イヤーマフラー等の防音保護具を着用して下さい。
- 爆発性雰囲気の中では使用しないで下さい。
- 作業現場内への立入禁止
 - 作業現場内に子供や一般者が立ち入らないよう、作業現場の入口や区域内に「立入禁止」の処置をして下さい。
- 改造、改修における事故に関しては、当社は一切責任を負いません。



4.2 作業前の注意事項



- キャブタイヤコードを点検し、磨耗・亀裂等により導体部が露出していないか確認して下さい。また、キャブタイヤコードは比較的磨耗が激しいので早めに新品と交換して下さい。
- 導体部を露出させた状態で運転しないで下さい。感電のおそれがあります。
- 電源ケーブルとの結線は、取扱説明書によって実施して下さい。感電や火災のおそれがあります。
- 床などに配線管、コンセントが残っていない事を作業前に確認して下さい。配線等に接触又は切断すると感電や火災など事故の原因になります。



- 損傷した部品が無いか点検して下さい。
 - ・使用前に、本機の部品に損傷が無いか充分点検し、正常に作動するか、また、所定の機能を発揮するか確認して下さい。
 - ・締め付け状態、部品の破損、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常が無いか確認して下さい。
 - ・損傷した部品交換や修理は、取扱説明書及びサービスマニュアルの指示に従って下さい。これらに指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼して下さい。
- ブレードの取付
 - ・ブレードを取り付けたり取り外す場合は、必ず本機のスイッチをOFFにし、プラグを電源から外して下さい。
 - ・ブレードの刃先は鋭利になっていますので大変危険です。周囲にも充分注意し、取り付け取り外し手順を守り安全な作業を行って下さい。
 - ・ボルトはしっかりと締め付けて下さい。緩むと大変危険です。
- 指定の付属品やアタッチメントを使用して下さい。
 - ・この取扱説明書及び弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故や怪我の原因になるおそれがありますので、使用しないで下さい。

4.3 作業中の注意事項



- 作業場の周囲状況も考慮して下さい。
 - ・雨中で作業したり、湿った・濡れた場所で使用しないで下さい。
 - ・作業場は充分明るくして下さい。
 - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないで下さい。
 - 作業場はいつも綺麗に保って下さい。
 - ・散らかった場所での作業は事故の原因になります。
 - 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用して下さい。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、発熱・回転異常等で事故や怪我の原因となります。
 - 感電に注意して下さい。
 - ・危険防止のため、入力電源部には漏電ブレーカーを使用して下さい。
 - 電源を入れる前にスパナなどは必ず取り外して下さい。
 - ・電源を入れる前に、部品の交換や整備等に用いたスパナなどの工具類が本機から取り外してある事を確認して下さい。
 - 不意な始動は避けて下さい。
 - ・差込プラグを電源に差し込む前に、スイッチがOFFになっている事を確認して下さい。
 - ・電源に繋いだ状態で、スイッチに指をかけて運搬しないで下さい。
- 本機のスイッチをONにしたまま移動させないで下さい。

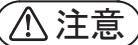
- キャブタイヤコードを乱暴に扱わないで下さい。
 - ・コードを引張ってコンセントから抜かないで下さい。
 - ・コードを熱、油、角の尖った所に近づけないで下さい。
 - ・キャブタイヤコードにブレード(刃先)を近づけないで下さい。断線、短絡により感電のおそれがあります。
 - ・キャブタイヤコードなどの配線類を無理に曲げたり引張ったり、挟み込んだりしないで下さい。感電のおそれがあります。
- モーターの周囲に通風を妨げるような障害物を置いたり、可燃物を置かないで下さい。
 - ・冷却が阻害され、異常過熱や火災、火傷のおそれがあります。
- 運転中、回転体(シャフト部等)へは絶対に接近又は接触しないで下さい。
 - ・巻き込まれ、怪我のおそれがあります。
- モーターのフレームは高温になるので素手で触れないで下さい。
 - ・火傷のおそれがあります。
- モーターの開口部に指や物を入れないで下さい。
 - ・感電、怪我、火災やモーター破損のおそれがあります。
- 運転中、モーターはかなり高温になります。手や体を触れないように注意して下さい。
 - ・感電や怪我、火傷のおそれがあります。
- 損傷したモーターを使用しないで下さい。
 - ・怪我、火災、感電のおそれがあります。
- モーターには絶対に乗らないで下さい。
 - ・モーター故障や怪我のおそれがあります。
- 停電した時は必ずスイッチをOFFにして下さい。
 - ・怪我や思わぬ事故のおそれがあります。
- 無理な姿勢で作業をしないで下さい。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにして下さい。
- 油断しないで充分注意して作業を行って下さい。
 - ・本機を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等充分注意して慎重に作業して下さい。
 - ・常識を働かせて下さい。
 - ・疲れた時は使用しないで下さい。
- 使用中に本機や音等の異常に気付いた場合は、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店や貸出先等に連絡し、点検・修理を依頼して下さい。
作業終了後は必ずブレードを外して下さい。
 - ・本機スイッチをOFFにして、差込プラグを電源から外して下さい。
- ブレードの取り外しは作業手順に従って安全に行って下さい。(取外し作業は12ページを参照して下さい。)
- ブレード取外し後は安全に保管して下さい。

⚠ 警告

- 濡れた手で本機に触れないで下さい。感電のおそれがあります。

⚠ 危険

4.4 リフティング時の注意事項

 注意	<ul style="list-style-type: none">● 積み下ろし時や、移動時には必ずブレード(刃)を外して下さい。(ブレードの取り外し手順は12ページを参照して下さい)● 吊り上げ作業に対し、本機部品(特にクッションゴム、ハンドルナット等)の破損やボルトの緩み、脱落が無く安全である事を確認して下さい。● 吊り下げる場合には、強度の充分なワイヤーロープを使用して下さい。● 安全の為、必要以上の高さには吊り上げないで下さい。	
--	--	--

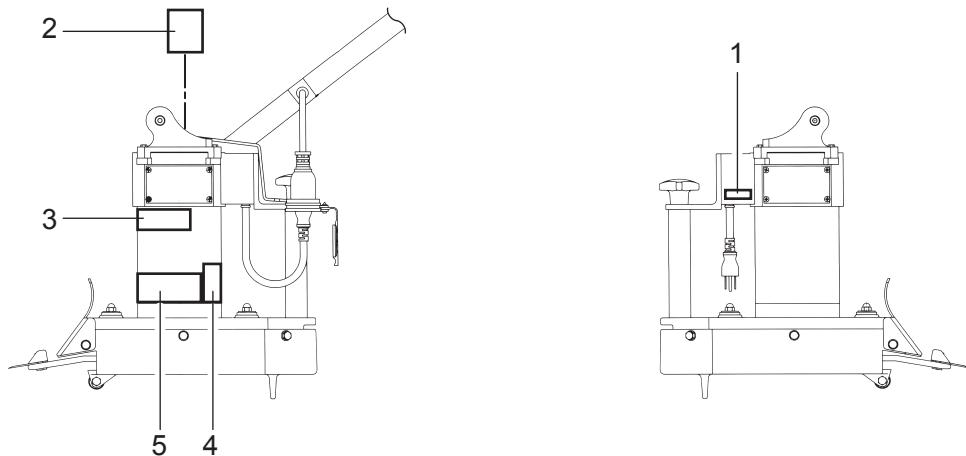
4.5 運搬時の注意事項

 警告	<ul style="list-style-type: none">● 運搬時には必ずブレード(刃)を外して下さい。(ブレードの取り外し手順は12ページを参照して下さい。)● 輸送中には動かないように本体を固定してください。	
--	---	--

4.6 点検・整備上の注意事項

 警告	<ul style="list-style-type: none">● 保守点検の作業は専門知識のある人が実施して下さい。● 注意深く手入れをして下さい。<ul style="list-style-type: none">・点検を行う場合は必ず本機のスイッチをOFFにし、差込プラグを電源から抜いて下さい。突然ブレードが動きますと大変危険です。・本機が前後に動かぬよう、平らな作業台の上で点検等の作業を行って下さい。本機が突然動きますと大変危険です。・モーター等電気関連部品が水に濡れないように注意して下さい。感電のおそれがあります。・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼して下さい。・継ぎ(延長)コードを用いる場合は、定期的に点検し損傷している場合は交換して下さい。・スイッチ、ハンドル等は常に乾燥させ綺麗な状態を保ち、油やグリスが付着しないようにして下さい。・配線は、機械設備技術基準や配線規定に従って施工して下さい。・モーター単体で回転させる場合は、主軸のカウンターウェイトを外して下さい。怪我のおそれがあります。	
 危険	<ul style="list-style-type: none">● 濡れた手で本機に触れないで下さい。感電のおそれがあります。	

4.7 ラベル



ラベルリスト

上図番号	部品番号	部品名称	数量	備考
1	9201-07240	銘板、ON-OFF /EDDY-1	1	
2	9201-07570	銘板、スイッチ操作方法 /EDDY-1	1	
3	9201-10670	銘板、取扱注意(絵文字)／MS-60	1	
4	9201-12120	銘板、製番／EDDY-II(PSEマーク)	1	
5	9201-12130	銘板、注意(EDDY-II)	1	

取扱について

漏電に対しての安全対策 ・入力電源には漏電ブレーカーを必ずセットする事。 ・必ずアースを接続。(緑色) 入力コードを接続する時は、必ずモーターのスイッチOFFを確認。	ブレード(刃先)に注意。 ・ブレードは刃物です。作業中は十分注意の事。 ・移動及び運搬時はブレードを外すか、必ずブレード用保護カバーを取付ける事。
定格時間30分	高温注意 NP-1213

スイッチの操作方法
1.モーター側のスイッチをON
2.ハンドル側スイッチを引いて(ON)作業
NP-757①

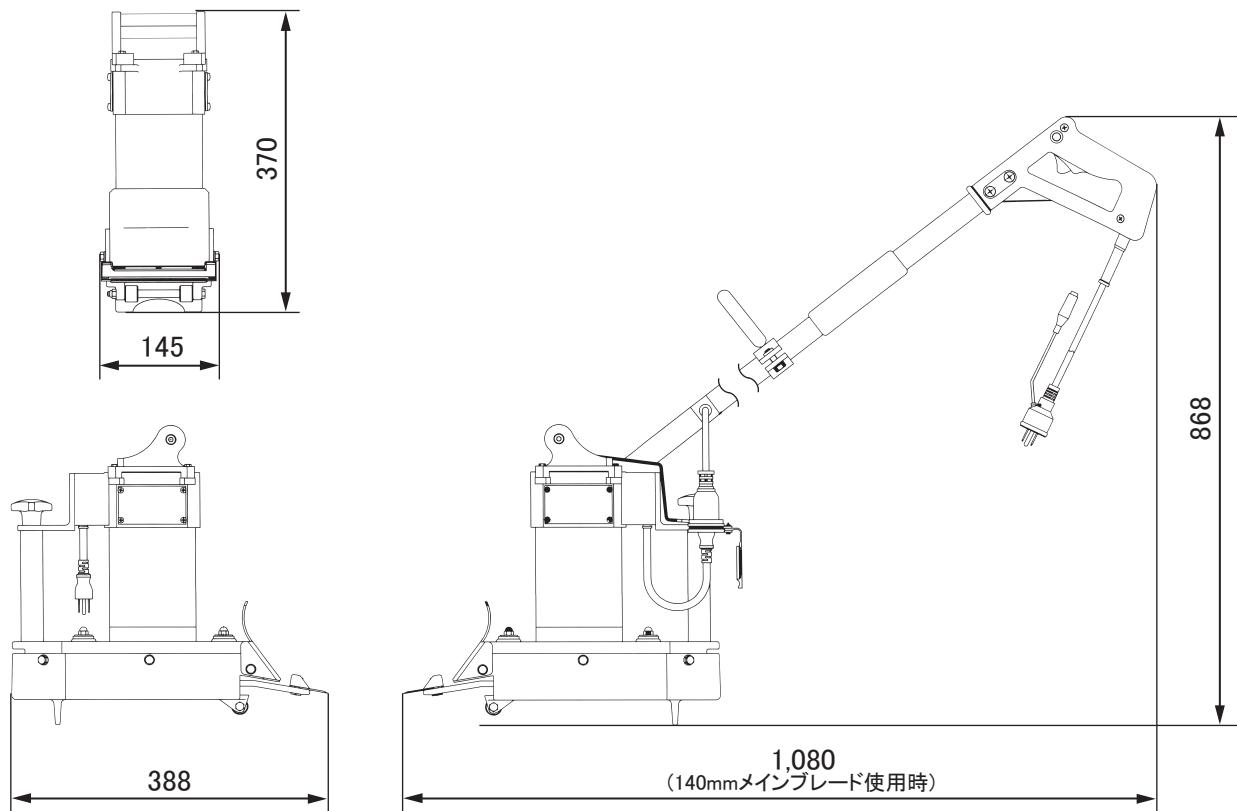
警告ラベル

①	②	③	④	⑤	⑥
⚠ 危険 刃先に注意	⚠ 危険 回転部接触禁止	⚠ 危険 感電に注意	⚠ 警告 雨中使用厳禁	⚠ 警告 耳・目の保護具着用	⚠ 注意 取扱説明書熟読 NP-1087

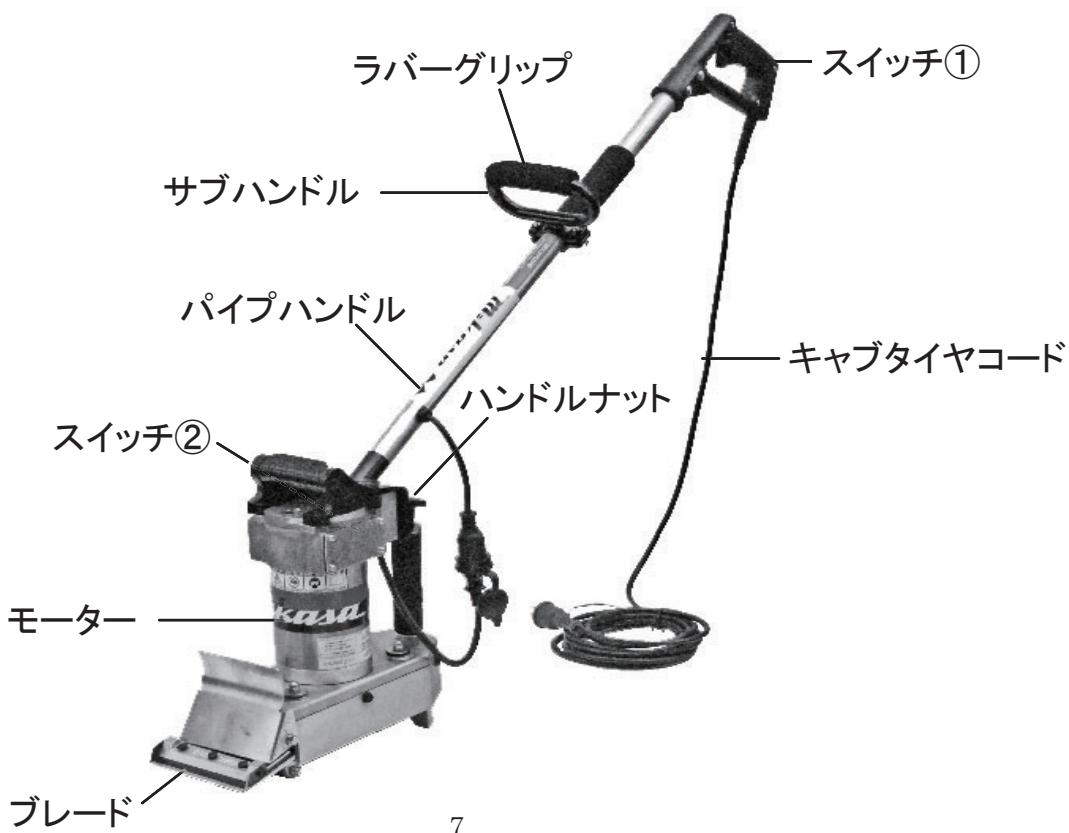
- ① 刃先に注意 : ブレード取付け、取外し時及び作業中ブレードには充分注意してください。
- ② 回転部接触注意
- ③ 感電に注意
- ④ 雨中使用禁止 : 雨中での使用禁止、カバーをかけずに雨中での放置・輸送禁止。
水洗い禁止。
- ⑤ 耳・目の保護具着用
- ⑥ 取扱説明書熟読 : ご使用前には必ず取扱説明書を読み、安全に本機を操作してください。

5 外観図

5.1 外観寸法図



5.2 コントロール装置位置及び装置名称



6 仕様

質量(ハンドルを含ます)	12.2 kg
剥がし幅	140 mm/230 mm
定格電圧	単相 100 V
定格電流	5.0 A
定格時間	30 min
周波数	50 Hz/60 Hz
振動数(無負荷時)	4,600 r.p.m
全長(ハンドルを除く)	388 mm

7 作業前点検及び注意事項

作業前に次の準備を済ませて下さい。

7.1 継ぎ(延長)コードの確認

- (△警告) 継ぎ(延長)コードは、損傷の無い物を使用して下さい。損傷があると、感電のおそれがあります。

7.2 作業環境の整備・確認

- (△警告) 作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかを確認して下さい。不適切な環境での作業は怪我をする等の事故を起こすおそれがあります。

8 運転前点検及び注意事項

8.1 使用電源の確認

- (△注意) · AC100V、15A 以上の電源で御使用下さい。電流が 15A 以上確保されない場合や異なる電圧で使用すると、モーターの焼損や事故の原因になります。

8.2 スイッチの確認

- (△警告) · スイッチが切れている事を確認して下さい。スイッチが入っているのを知らずに差し込みプラグを電源に差し込むと急にブレードが動き出し、怪我をするおそれがあります。

8.3 ハンドルナットの確認

- (△警告) · ハンドルナットをしっかりと締め付け、ハンドルが外れない事を確認して下さい。ハンドルナットが緩んでいると、ハンドルが本体から外れたりして怪我をするおそれがあります。

8.4 ブレードの取付

- (△警告) · ブレードが損傷していない事を確認して下さい。万一クラックが入っていますと思わぬ事故を誘発するおそれがあります。
· ブレードの取付・取外しの際は必ず本機のスイッチを OFF にし、プラグを電源から外して下さい。
· ブレードの刃先は鋭利になっていますので大変危険です。周囲にも充分注意し、安全な作業を行って下さい。

【ブレード取付作業】



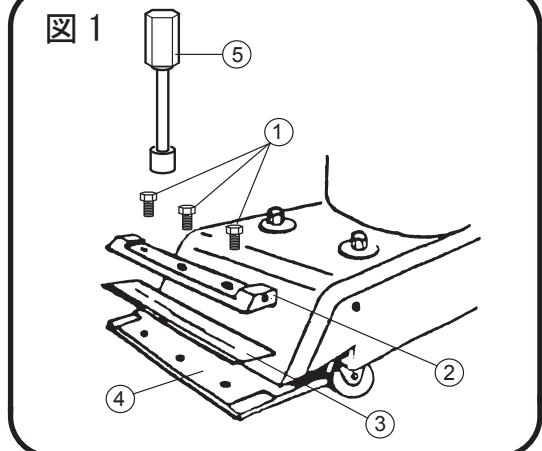
本機が安定している事を確認してください。ブレード取付中に機体が動いたり、傾いたりすると大変危険です。



ボルトが緩むと大変危険です。ボルトの締付には充分注意を払ってください。

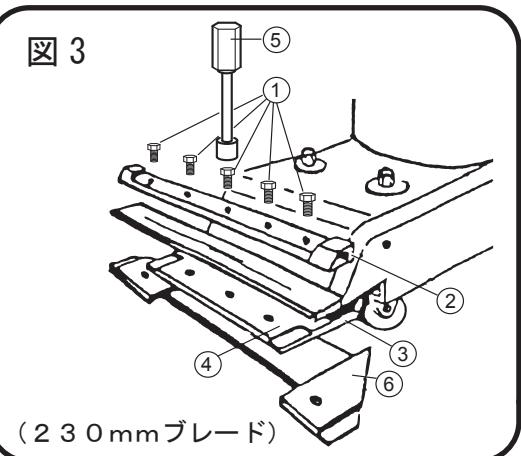
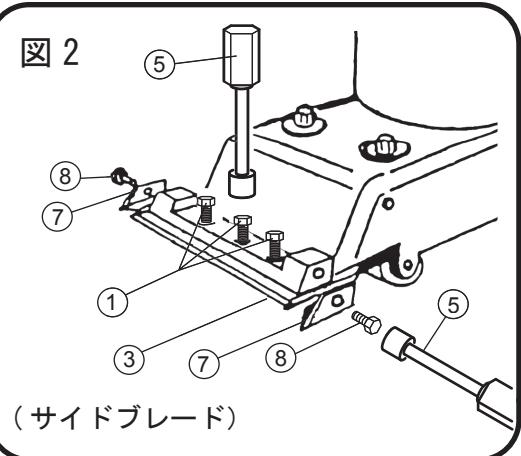
○ 140mmメインブレード(図1,図2)

1. ブレード③の左右のエッジをブレードサポート(上)②の内側に合わせます。
2. サイドブレード(左右)⑦をブレードサポート(上)②にボルト⑧で固定します。
3. バイブレーティングプレート④にボルト①を締め込みます。
4. 付属の工具を使って、ボルト①を締め込みます。



○ 230mmメインブレード(図3)

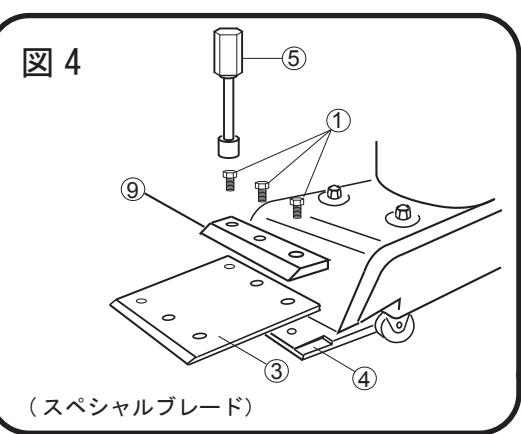
1. ブレード③の左右のエッジをブレードサポート(上・230mm)②の内側に合わせます。
2. サイドブレード(左右)⑦をブレードサポート(上・230mm)②にボルト⑧で固定します。
3. ブレードサポート(下・230mm)⑥とブレードサポート(上・230mm)②を、ボルト①(両端)で、仮止めします。
4. ブレードサポート(下・230mm)⑥とブレードサポート(上・230mm)②の間に、バイブレーティングプレート④をはさみ込みます。
5. 付属の工具を使って、ボルト①を締め込みます。



○ スペシャルブレード(図4)

1. スペシャルブレード③をバイブレーティングプレート④の上に置き、専用のブレードホルダー(スペシャル)⑨で、はさみ込みます。
2. 付属の工具を使って、ボルト①を締め込みます。

スペシャルブレードを取付けると、サイドブレードは取付ける事ができません。



【付属ブレード(刃)の種類と選択】

1. メインブレード (140mm幅、サイドブレード付)

用途: クッションプロアー、カーペット、フェルト等の比較的軟らかめの床材 (比較的狭い場所向き)

取付: カット面が下になるのが標準



2. メインブレード (230mm幅、サイドブレード付)

用途: クッションプロアー、カーペット、フェルト等の比較的軟らかめの床材

取付: カット面が下になるのが標準



3. スペシャルブレード (140mm×100mm)

用途: ビニールタイル(Pタイル)、クッションプロアー、寄木張り床材等
取付: カット面が上になるのが標準



- メインブレードは軟らかく、スペシャルブレードは硬くできています。剥がす材料によって使い分けてください。
- 床の状況によってブレード(刃)の裏表(カット面の上下)を決めてください。
- 比較的に硬い床材(Pタイル等)には、スペシャルブレードが有利です。
床材にもよりますが、比較的に軟らかい床材で、広い作業面積の場合は230mmのメインブレードをご使用ください。
- 階段や狭い場所では、140mmのメインブレードをご使用ください。

【サブハンドルの取付け及び使用方法】

- (1) パイプハンドルに取り付ける事で、本機の操作性を向上させる為のものです。
- (2) ブレードが床に密着し易くなり、安定した床材の剥離が可能になります。
- (3) パイプハンドル上の任意の位置に付属の金具、ボルトで取り付けてください。パイプハンドルを変形させないように、過度にボルトを締めすぎないようにしてください。
- (4) サブハンドルに過剰な力を加えると、破損の原因になります。
- (5) サブハンドルを他の目的には使わないでください。



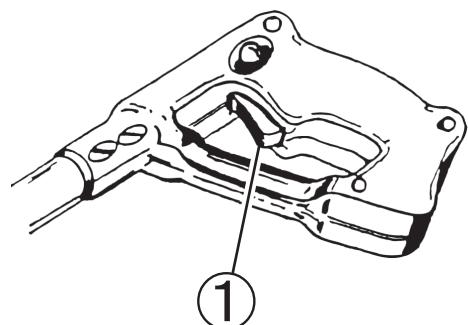
9 運転

9.1 スイッチ（図5、図6）

1. 本機を長尺ハンドルで作業する時は、スイッチ①を押せば起動します。
2. スイッチを離せば停止します。
(本体側のスイッチ②はONにしておきます)
3. 長尺ハンドルを使用しない場合は、本体側のスイッチ②で起動及び停止を行ってください。
4. プラグを電源に差し込む場合は、必ず本機のスイッチ①、②をOFFにしてから接続してください。

運転前に必ずスイッチが正常に作動することを確認してください

図 5



9.2 剥がし作業（図7）

1. ブレードの刃面を床材等に向け、スイッチをONにします。ブレードの動きが一定になったのを確認してから、ゆっくりとブレードを床材等に食い込ませます。
2. 最初に食い込ませる時は、角度を立て気味にしてブレードの角部分から当てる容易になります。
3. 床材が剥がれ始めたら、床材と床(接着剤)にブレードが入る様に傾斜角度を決めて押し込んでください。
4. 剥がす床材や接着剤の質とその接着状況によって傾斜角度を調整すると、作業が楽になり能率が向上します。
5. 床材の接着力が強力で、剥がしにくい場合はブレード幅全てを使うのではなく、半分程度を床材に当てる効果が上がる場合もあります。
6. 剥がし能力が低下した場合は、新しいブレードに交換するか、ブレードの刃先をグラインダー等で研いでください。
7. スペシャルブレードを使用してCF、ウレタン等を剥がす場合は市販のカッター等で、縦方向に切り込みを入れておくと、廃材の扱いが容易になります。

図 6

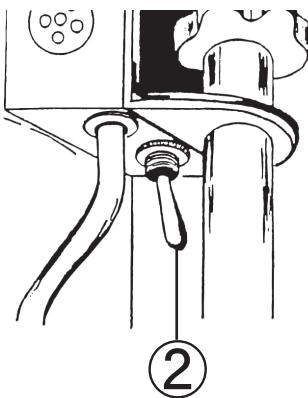
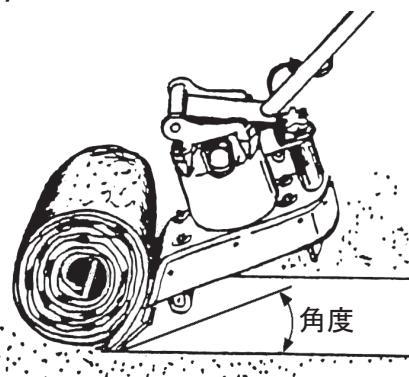


図 7



9.3 作業上の注意

1. ハンドル部及び本体に外部からの衝撃を加えたりしないでください。
2. ブレードが床材に食い込んだ状態で、プラスチックハンドル部に過剰な力(特に下方向)を加えないでください。破損の原因になります。
3. サブハンドルに過剰な力を加えると、破損の原因になります。
4. サブハンドルを他の目的に使用しないでください。バーナー等で本機に熱を加えないでください。

10 停止

1. 本機のスイッチを OFF にする。
2. 差込プラグを電源から抜く。

△注意

差込プラグを抜く際は、必ず差し込みプラグを持って抜いて下さい。キャブタイヤコードを引張って抜かないで下さい。

3. キャブタイヤコードの点検

- ・キャブタイヤコードに亀裂や傷が無いか点検して下さい。（図 8）

4. 繰ぎ（延長）コードを格納する。

5. ブレードを外す。

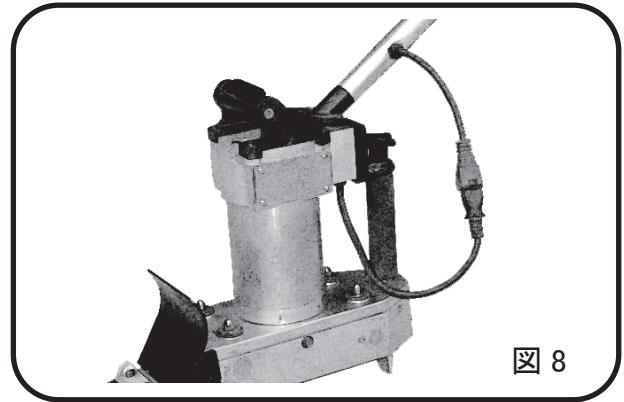


図 8

△警告

ブレードの刃先は鋭利で大変危険です。周囲にも充分注意し、安全に作業して下さい。

△警告

本機が安定している事を確認して下さい。
ブレード取り扱い中に機体が動いたり傾いたりしますと大変危険です。

5-a ブレード取付部を浮かせて下さい。

5-b ブレードにカバーを付けて下さい。 (図 9)

5-c ボルトを緩め、ブレードを引き抜いて下さい。

5-d ボルトは元通りにしっかりと締めておいて下さい。 (図 10)

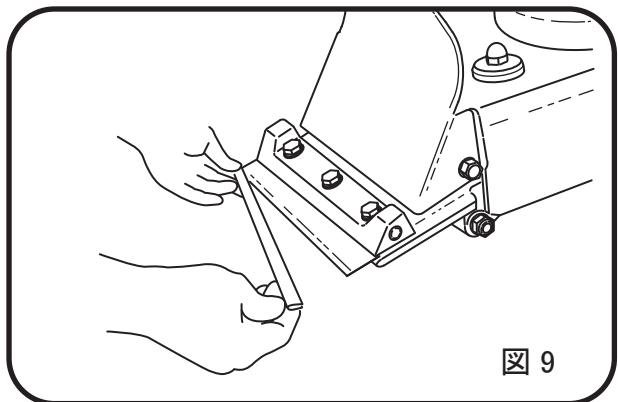


図 9

△注意

ボルトが緩んだ状態で試運転を行うと危険です。

6. ブレードの保管

- ・取り外したブレードを安全な場所に保管して下さい。

7. 本機の保管

- ・本機に付着したゴミ・ホコリを取り除き、安全な場所に保管して下さい。

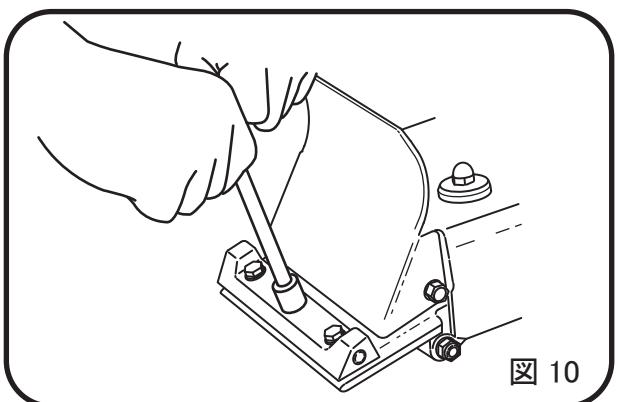


図 10

11 手入れと保存

各部点検スケジュール表

点検時期	点検箇所	点検項目
毎日(作業前)	外観 電源コード ブレード ボルト・ナット類	傷、ゆがみ 傷、破損、切断 傷、破損 緩み、脱落
不定期	防振ゴム 振動板部 偏心シャフト部 ベアリング 振動板部 偏心シャフト部	傷、劣化、破損 摩耗、がたつき 摩耗、異音、がたつき 摩耗、異音、がたつき

1. 本体の点検、清掃を行うときにはプラグを電源から外して行ってください。
2. 各所の汚れはきれいに清掃してください。また締付け部分の緩みは増し締めしてください。
3. メインブレード(140mm,230mm)が消耗しましたら、新しいブレードに交換してください。
スペシャルブレードについては、刃先を研いである程度使用することができます。
4. キャブタイヤコードを点検し、摩耗や亀裂等により導体部が露出していないか確認してください。またキャブタイヤコードは比較的に摩耗が激しいので早めに新しいものと交換してください。
5. 長期間使用しない場合は、直射日光のあたらない湿気やホコリのないところにカバーをかけて保管してください。

部品やパーツリスト及び修理に関しては、販売店もしくは弊社部品サービスセンターにお問い合わせください。

12 トラブルシューティング

故障の状態

故障の原因

対処方法

1 始動時にスイッチをONにしても運転が出来ない時

1.1 電源が入っていない ————— 電源を入れる

1.2 電源が入っているが始動しない ————— モーターの故障
モーター音がしない
・コードの断線 ————— コードを交換する
・固定子コイルの断線 ————— 専門工場で修理する
負荷が重過ぎる ————— 負荷を軽くする
—コードの断線 ————— コードを交換する
—スイッチの故障 ————— スイッチを交換する

1.3 電源側のブレーカーが落ちる ————— モーターの故障

モーターがうなる音がする
・固定子コイルの断線 ————— 専門工場で修理する
・ボールベアリングの摩耗 ————— ボールベアリングを交換する
低速で回転して速度が上がらない
熱すぎる
・固定子と回転子の接触 ————— 専門工場で修理する
ブンブンうなる
・固定子コイルの短絡 ————— 専門工場で修理する
負荷が重過ぎる
・ボールベアリングの破損 ————— ボールベアリングを交換する
・防振ゴムの破損 ————— 防振ゴムを交換する
—電圧降下 ————— 電圧を確保する
—高電圧 ————— 電圧を確保する
—漏電している ————— 漏電部を確認し除去する

2 振動板の不具合

異常振動・異音 ————— 防振ゴムの亀裂・破損 ————— 防振ゴムを交換する
—ナットの緩み・欠落 ————— 増し締めする
—ボールベアリングの破損 ————— ボールベアリングを交換する
—Oリングの亀裂・破損 ————— Oリングを交換する
—偏芯シャフトの摩耗 ————— 偏芯シャフトを交換する
振動板の落下 ————— 防振ゴムの亀裂・破損 ————— 防振ゴムを交換する
—ナットの緩み・欠落 ————— 増し締めする

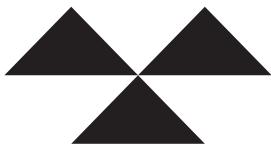
3 ハンドルの不具合

ハンドルのがたつき ————— ハンドル取付ボルトの
緩み・欠落 ————— 増し締めする

4 ブレードの不具合

ブレードのがたつき ————— ブレード取付ボルトの
緩み・欠落 ————— 増し締めする
剥がし能力(作業能力)の低下 ————— ブレードの摩耗 ————— ブレードを交換する

Note



MIKASA SANGYO CO., LTD.

HEAD OFFICE
No.4-3, Sarugakicho 1-chome,
Chiyoda-ku, Tokyo, 101-0064,
Japan



三笠産業株式会社

本 社 〒101-0064 東京都千代田区猿楽町1丁目4番3号
電話 03-3292-1411 FAX 03-3233-0530
大 阪 支 店 〒577-0016 東大阪市長田西3丁目1-23
電話 06-6745-9631 FAX 06-6745-9660
札 幌 営 業 所 〒003-0030 札幌市白石区流通センター6丁目1番48号
電話 011-892-6920 FAX 011-892-6344
仙 台 営 業 所 〒984-0015 仙台市若林区卸町5丁目1番16号
電話 022-238-1521 FAX 022-238-0331
北 関 東 営 業 所 〒374-0042 館林市近藤町178番地
電話 0276-74-6452 FAX 03-3233-0530
中 部 営 業 所 〒453-0014 名古屋市中村区則武1丁目9番4号
電話 052-451-7191 FAX 052-451-0315
中 国 営 業 所 〒731-0138 広島市安佐南区祇園3丁目45番11号
電話 082-875-8561 FAX 082-875-8560
九 州 営 業 所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南5丁目22番5号
電話 092-431-5523 FAX 092-431-5707

《出張所》

・新潟 ・長野 ・金沢 ・四国 ・南九州 ・沖縄

《部品サービスセンター》

部 品 課 〒344-0053 春日部市緑町3丁目4番39号
電話 048-734-2401 FAX 048-736-6787
サ ー ビ ス 課 電話 048-734-2402 FAX 048-734-7678

・館林物流センター ・技術研究所 ・館林工場 ・春日部工場